

社員番号		氏名	宮園 康太	カナ	ミヤゾノ コウタ	所属		作成日	2020/9/25
------	--	----	-------	----	----------	----	--	-----	-----------

DIタイプ

ⅢJ キャプテンシー、安定、対話

50pt



どんな環境や状況の中でも、変わらずブレずに対応するタイプ。情緒が安定しており、常に安定したアウトプットや成果を出していく。相手との対話を大切にする。人を説得、納得させたり、チームをまとめたりすることが上手い。 【強度】 50pt

【他タイプとの合致度】

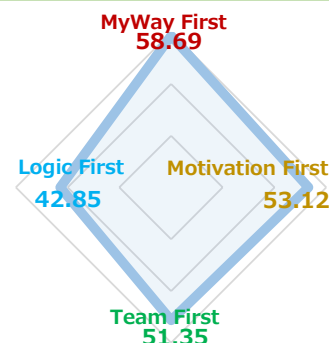
ⅢH	信念、実行力、シャイ	43pt
ⅢI	挑戦、気さく、ポジティブ	43pt

DIタイプとは：DI本部全員のアセスメントデータを分析し、特性の類型を全11パターンに分類。それぞれの特性を分かりやすいように表現した。**強度**が高いほど、類型との合致度合いが高い。

ソーシャルスタイル

表現豊かなリーダー

旗振り先導タイプ



主体的、主導的な役割を担って行動する。選択決定が早い。物事の道理を捉え、無駄を嫌う。勝つための戦略立案を考え、失敗を恐れず、まずやってみる。
正論や論理性よりも、人がどう受け取るか、気持ちや感性がより重要
【強度】 37.5pt

ソーシャルスタイルとは：人はふるまい方や物事の見方、意思決定の仕方に好みがあり、好みの傾向から大きく4つソーシャルスタイルに分類される。内的な傾向ではなく、社会や組織とどの様に接する傾向があるか、「社会性」の分類である。**強度**が高いほど、分類との合致性が高い。

思考のスタイル

興味関心は自分の世界の中にある
自分の価値観を重視する
自身の主観を重視する

内向性 (i)	関心の方向性	外向性 (e)
46.75		53.25

興味関心は世界の在り方にある
社会的な動きに関心がある
社会の客観的見解を重視する

現実主義
未来より今この瞬間が大事
現場感を大事にする

現実的 (r)	世界の捉え方	直観的 (n)
33.14		66.86

理想主義
創造力やアイデア豊かで型破り
未来から今を考える

理屈や論理に合うことが肝要
正しさ(あるべき)を優先する
事実、因果関係を重視

論理的 (l)	判断の基準	感情的 (f)
46.83		53.17

五感(肌感覚)を大事にする
共感性が高く、個人の価値感を尊重
社会性を考慮する

自分の道は自分で決める。指示を嫌う
戦略立案や勝負事に興味がある
チャレンジすることを厭わない

主導的 (a)	行動の基準	協調的 (o)
48.63		51.37

調和を重視
自分よりも仲間のことを考える
全体リスクを見極める

思考のスタイルとは：人がその人自身の世界をどう認識し、物事の決定をしていくのかという点について心理的な傾向を分類。カール・ユングによって提案された概念理論に基づき、モチベーション理論を組込むことで、オリジナルのモデルで診断。

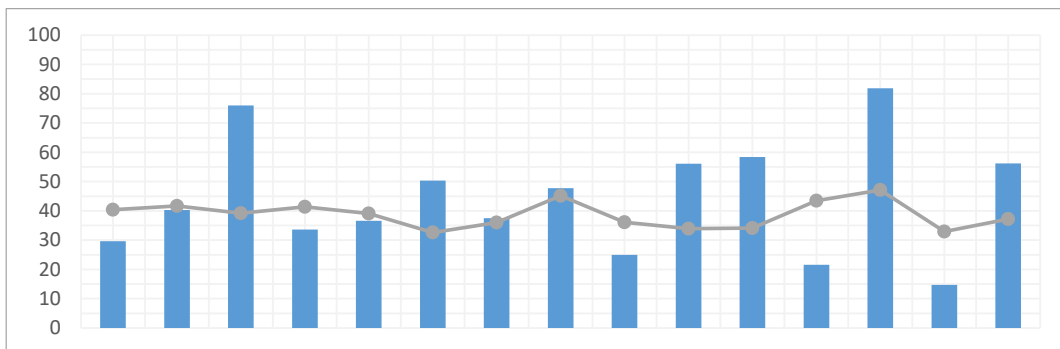
DI本部全体の傾向

内向性 (i)	71%	29%	外向性 (e)
現実的 (r)	52%	48%	直観的 (n)
論理的 (l)	43%	57%	感情的 (f)
主導的 (a)	29%	71%	協調的 (o)

社員番号		氏名	宮園 康太	カナ	ミヤゾノ コウタ	所属		作成日	2020/9/25
------	--	----	-------	----	----------	----	--	-----	-----------

Big5 基本的性格特性因子

Big5とは：人の性格は5つの要素の組み合わせからなることを説明した理論。多くの性格適性検査は本理論を元に設計されている。各因子は高いから良い、低いから悪いという訳でなく、各々に長短が存在する。



30	40	76	34	37	50	38	48	25	56	58	22	82	15	56
チーム志向	気さくさ	フットワーク	協調優先	多様性対応	説得・交渉	役割意識	誠実	完遂意欲	安定性	回復力	配慮	情報欲求	緻密性	論理性
48.66			40.18			36.73			45.39			50.95		
外向性			協調性			良識性			情緒安定性			知的好奇心		

（長所）状況を敏感に捉えて、素早く行動や決断を起こすことが出来る（短所）しっかり吟味したり、深く考えずに行動して失敗することがある

（長所）自分が分からないことは何でも知ろうとする行動が多い（短所）今、この時点では不必要な情報まで入手しようとするあまり無駄が多くなりがち

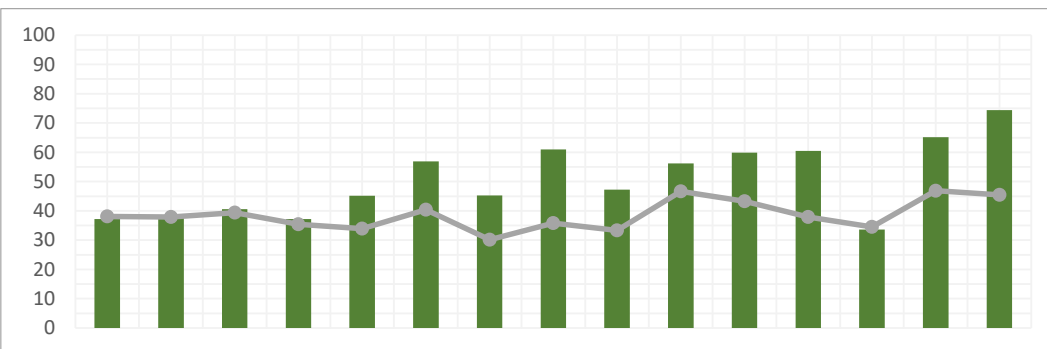
（長所）失敗や他者との衝突などで精神的な落ち込みがあった時にも、長く引きずることなく気持ちを切り替えることが出来る（短所）感情の起伏の波が早く短く大きいので、瞬間的、爆発的な喜怒哀楽が表層化されることがある

（長所）裏表なく単刀直入に率直な発言をすることが出来る（短所）相手の状況や感情、気持ちを慮ることなく冷たく官僚的な接し方をしてしまうことがある

（長所）細かいところを気にせず大枠で判断することが出来る（短所）手にしている情報が薄いので最適な判断ができないことがある

Business Big5 ビジネス的性格特性因子

Business Big5とは：Big5理論に基づき、ビジネス場面に絞った上で、活かされる性格因子を示したものの。マルチコポーロが独自に分類。Big5同様にスコアの高低に良し悪しはなく、各々に長短が存在する。



37	38	41	37	45	57	45	61	47	56	60	60	34	65	74
独自性	事業創造力	挑戦心	交流欲求	移動容易性	順応性	批判耐性	負荷耐性	要求耐性	自己理解	向上心	ポジティブ	一流志向	経済成功欲	評価志向
38.65			46.42			51.17			58.85			57.71		
変革創造			異文化適応			ストレス耐性			自己実現			社会的成功		

（長所）顧客や仲間からの評価や賞賛を重視し、自分の活動の他者満足度を向上させようとする（短所）他人の評価に振り回される懸念がある

（長所）やることが増えても不安になったりプレッシャーを感じにくい（短所）人の仕事量を考慮せずに仕事を渡す傾向がある

社員番号	2070669	氏名		カナ	ミヤヅノ コウタ	所属		作成日	2020/9/25
------	---------	----	--	----	----------	----	--	-----	-----------

仕事のモチベーションの根源

本部内偏差値として表現

組織行動適性

本部内偏差値として表現

仕事のモチベーションの根源とは：マクレランドの欲求理論を元に、自身が成し遂げたい欲求を測定。組織分野が求める動機と適合している人材ほど、無理なく自然な形で就業することが出来る。

動機要素	解説	偏差値
達成動機	達成に向けて困難な時にも諦めずに努力する。自分の責任への思い入れが強い。リスクを好みチャレンジングな姿勢を持つ	44.03
権力動機	他人に影響を与え、責任ある立場でいたい。役職を重視する。より大きな責任を与えられることを好む	63.64
親和動機	競争状況よりも相互理解を大切にしたい気持ちよく働きたい思いが強い。他者からの受容を望み、仲間との関係性をより重視する	48.60
安全動機	失敗、挫折、困難な状況を回避しようとする。慎重でリスクを起こさない反面、仕事の精度は非常に高い。完成率、成功率を誇る	35.31

組織行動適性とは：社会、会社、チームといった組織で必要とされる行動特性の適合度合いを測定した。組織の中で発揮される行動傾向を表している。

行動要素	解説	偏差値
協力行動	周囲に気を配り、協力し合うことが出来る。チームや仲間へ配慮できる。反面、個人の責任が曖昧になる側面もある	45.80
牽引行動	リーダーシップを発揮し、周知を牽引できる。反面、チームの一員として指示を受けて周囲をサポートすることが苦手	69.01
完投行動	困難を乗り越え最後までやり抜く力。反面、独りよがりになり、仲間に適切に支援を求めることが苦手	52.18
現実行動	現実性を追求し、落としどころを見極めることができる。理想は理想と割り切り、確実性を失わない。反面、妥協することがある	33.40
計画行動	計画を立てて進められる。反面、突発的な出来事や変更を嫌う側面もある	53.72

ビジネスセンス

本部内偏差値として表現

注意すべき要素

本部内偏差値として表現

ビジネスセンスとは：仕事上での感度の高さを測定。測定した要素のうち上位項目のみを表示。外部からの刺激を受ける姿勢であり、比較的变化しやすい要素。役割、立場によっても変化する。

1	なりゆきを感じとって先を見抜くセンス	71.38
	現在の状況を的確に把握した上で、一歩先の行動をとっていくセンス。常にベストな状態でいようとする反面、時々の状況に振り回されがち。	
2	危険やチャンスを知覚するセンス	64.15
	物事に潜むリスクやチャンスをいち早く敏感に感じ取れるセンス。先行して検討することが得意なので、準備が早い。	
3	社会の動きを見抜くセンス	58.60
	社会の動き（場合によっては会社内の動き）や流行、トレンドにアンテナをはって、有効な情報をキャッチしようとする。反面、多勢に流されがち。	
4	人の気持ちや動きを見抜くセンス	56.80
	相手の気持ちや意図することを敏感に感じ取って、効果的に対応できるセンス。真意を受け取り、状況に応じた対応ができる。	

注意すべき要素とは：仕事する上で発露しやすい注意すべき傾向のうち、上位項目を表示。注意すべき要素も、良い性格因子の裏側の因子であるため、一概にすべてを修正することは相応しくない。

1	粗雑さ	75.08
	大枠でとらえるあまり、何事も細かいところまで注意が及ばず、荒っぽくいい加減になってしまう可能性がある。	
2	自意識過剰	69.25
	自分の存在や能力を過信してしまったり、会社内の役割を自分の存在価値と誤認識したふるまいをしてしまう可能性がある。	
3	不用意さ	61.20
	注意や用心、先読み意識が足らず、準備不足な状況を招いたり、不適切な言動をしてしまう可能性がある。	
4	ホスピタリティーのなさ	59.23
	相手の求めること、望んでいることを考慮せず、他者に対する気遣いや配慮が乏しくなる可能性がある。	